

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

認知症ラウンドにおける薬剤師の役割

[研究責任者]

江南厚生病院 薬剤部 永井孝正

[研究の概要]

当院では令和 2 年度より認知症ケアチームが発足し、各診療科からの依頼に基づき、電子カルテを用いた回診や患者様訪問による症状確認を行う認知症ラウンドを実施し、認知症ケア加算の算定を行っています。認知症の治療には薬物療法と非薬物療法の両方が重要とされており、特に薬物療法においては薬剤師の介入が有効性や安全性の確保の観点から重要とされています。しかし、認知症ケア加算におけるケアチームの構成において薬剤師は必須とされておらず、当院においても薬剤師はチームの一員として参加しているものの、薬物治療に与える具体的な影響や有用性については明確な評価がありません。今回、認知症ケアチームに依頼のあった患者様を振り返り、薬剤師の関与状況を踏まえてその役割を検証します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に認知症ケアチームにコンサルテーションのあった患者

●利用するカルテ情報

年齢、性別、処方内容、抗認知症薬の有無および種類、認知症ケアチームのコンサルテーションの有無、認知症ケアチームにおける薬剤師介入の有無、行動・心理症状（BPSD）の有無 等

[研究期間]

研究実施許可日～2025 年 11 月 30 日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

- 研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 永井 孝正
電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337